

「サシバの繁殖期の生態と生息状況」

主催：日本オオタカネットワーク・立教大学

里山の指標種と言われるサシバは、近年生息数が激減しています。そのため、2006年のレッドリスト改訂では絶滅危惧Ⅱ類に選定され、その現状把握と保護が課題とされました。本種については、今までの研究から、繁殖生態や環境選択、渡りのルートなどが明らかになっています。一方最近の調査から、地域による生活スタイルや生息状況の違いが指摘されています。そこで、各地の研究者が一同に会し、本種の繁殖期の生態や生息状況について情報交換するとともに、今後の連携や保護のあり方を検討するためにシンポジウムを開催いたします。

日時：2011年3月5日（土）13：00～17：30

会場：東京都豊島区 立教大学池袋キャンパス 14号館 D201 教室

参加費：500円（資料代）

■ 日程

12：00 開場・受付開始

13：00 開会

13：10 基調講演「サシバの繁殖期の生態」

東 淳樹氏（岩手大学農学部共生環境課程 保全生物学研究室 講師）

14：20 休憩

14：30 各地におけるサシバの生息状況の報告

岩手（岩手大学農学部農林環境科学科 川村詞朗）

栃木（オオタカ保護基金 野中純）

長野（ラポーザ 荒井克人）

石川（北陸鳥類調査研究所 今森達也）

愛知（豊田市自然観察の森 大畑孝二）

福岡（希少生物研究会 伊関文隆）

16：40 休憩

16：50 今後の連携や保護についての意見交換

コーディネーター：遠藤孝一（日本オオタカネットワーク）

パネリスト：東淳樹、野中純、古南幸弘（日本野鳥の会）

17：30 閉会

■ 参加申込み

2月20日までに、氏名、所属、連絡先（電話かメール）を添えて、「日本オオタカネットワーク（新井真）」まで、メール（cxm02540@nifty.com）か電話（090-4796-7998）でお申込みください。